

【資料】

教科種目名《 国語 》

発行者の略号	東書	書名	新編 新しい国語
教育基本法、 学校教育法 及び 学習指導要領 との関連			<p>教育基本法に示されている「職業及び生活」に関連して、働くことについての考え方を示した教材「何のために「働く」のか」が取り上げられている。</p> <p>教育基本法に示されている「自ら進んで学習に取り組む意欲」に関連して、学習課題に進んで取り組むために、「読むこと」の学習手順「読み取る」「考えを深める」が「てびき」に示されている。</p> <p>学校教育法に示されている「主体的に学習に取り組む態度」に関連して、「てびき」で学習目標と振り返りが示され、「言葉の力」で他教材につなげる工夫がされている。</p> <p>学習指導要領の国語科の目標である「国語を尊重する態度」に関連して、作品のもとになった古典作品と読み比べる教材「形」が取り上げられている。</p> <p>学習指導要領の教育内容の主な改善事項である「伝統や文化」に関連して、伝統芸能について考える教材「落語の秘密」が取り上げられている。</p> <p>*詳細は、資料（国語 - 6 ~ 国語 - 8）に記載。</p>
かながわ教育 ビジョンとの 関連			<p>「思いやる力」の「生命の尊厳」に関連して、原爆の悲劇を題材にした教材「碑」が取り上げられている。</p> <p>「たくましく生きる力」の「情報化」に関連して、情報発信、情報受信の注意点について考える教材「ニュースの見方を考えよう」が取り上げられている。</p> <p>「社会とかかわる力」の「人とのふれあい体験」に関連して、社会生活の中で、丁寧な手紙を書く教材「依頼状やお礼状を書こう」が取り上げられている。</p>
内 容			<p>「話すこと・聞くこと」では、リンクマップを用いて討論を行う教材「話し合いで問題を検討しよう」が取り上げられている。</p> <p>「書くこと」では、関心のある好きな歌の中の表現を根拠にして、その作品のよさを伝える鑑賞文を書く教材「作品のよさを表現しよう」が取り上げられている。</p> <p>「読むこと」では、情報の意義とメディアの役割について考えを深める教材「いつものように新聞が届いた - メディアと東日本大震災」が取り上げられている。</p> <p>伝統的な言語文化と国語の特質に親しむことをねらいとした「四季を楽しむ言葉」「四季を彩る言葉」「四季を味わう言葉」では、歌や句に読まれた言葉や行事などが取り上げられている。</p> <p>神奈川に関連することとして、「トロッコ」の作品中に「小田原」「岩村」の地名が記載されている。</p> <p>*詳細のデータは、資料（国語 - 9 ~ 国語 - 10）に記載。</p>
構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁			<p>判型はB5判で、「全ての生徒の色覚特性に適應するようにデザインしています。」 「再生紙・植物油インキを使用しています。」と表記されている。</p> <p>巻末に本編の内容を詳しく示した資料が、「基礎編」「資料編」として構成されている。</p> <p>*詳細のデータは、資料（国語 - 10 ~ 国語 - 11）に記載。</p>
表記・表現			<p>「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化」の分類がマークで、学習のポイントがキャラクターで示されている。</p> <p>各教材で学習のポイントが示されている「言葉の力」の部分が彩色されている。</p> <p>*詳細のデータは、資料（国語 - 11）に記載。</p>

【資料】

教科種目名《 国語 》

発行者の略号	学図	書名	中学校国語
教育基本法、 学校教育法 及び 学習指導要領 との関連	<p>教育基本法に示されている「伝統と文化の尊重」に関連して、日本の伝統工芸を現代に伝える産業を扱った教材「ものづくりに生きる」が取り上げられている。</p> <p>教育基本法に示されている「自ら進んで学習に取り組む意欲」に関連して、「読むこと」の学習に主体的に取り組むために、単元のはじめの「読むこと」教材の本文の脚注らんに、読解のための課題が示されている。</p> <p>学校教育法に示されている「主体的に学習に取り組む態度」に関連して、「学びの窓」で課題や振り返りが示され、「発見する読み」で他教材につなげる工夫がされている。</p> <p>学習指導要領の国語科の目標である「国語に対する認識」に関連して、言葉を通して相互に理解を深めることを考えさせる教材「言葉の共有」が取り上げられている。</p> <p>学習指導要領の教育内容の主な改善事項である「言語活動」に関連して、印象的なキャッチコピーを考える教材「私のブックデザイン」が取り上げられている。</p> <p>*詳細は、資料（国語 - 6～国語 - 8）に記載。</p>		
かながわ教育 ビジョンとの 関連	<p>「思いやる力」の「生命の尊厳」に関連して、原爆投下直後の渦中にいた人々を扱った教材「黒い雨」が取り上げられている。</p> <p>「たくましく生きる力」の「情報化」に関連して、情報を編集するしかけについて考える教材「情報を読む・世界を編集する」が取り上げられている。</p> <p>「社会とかわる力」の「人とのふれあい体験」に関連して、発達段階に応じた子どもとのふれあいを描いた教材「空飛ぶ魔法のほうき」が取り上げられている。</p>		
内 容	<p>「話すこと・聞くこと」では、友達の考えをより深く知るために、答えやすく話が展開しやすい質問を考える教材「インタビューをしよう」が取り上げられている。</p> <p>「書くこと」では、絵を見て感じることや想像を膨らませ物語や詩を作る教材「想像する言葉」が取り上げられている。</p> <p>「読むこと」では、戯曲の表現を使って言葉にこだわりながら朗読をする教材「花いちもんめ」が取り上げられている。</p> <p>伝統的な言語文化と国語の特質に親しむことをねらいとした「漢字を見抜く」「語を見抜く」「文字を見抜く」では、文法事項や語彙が取り上げられている。</p> <p>神奈川に関連することとして、「夕空晴れて」の作品中に「横浜」の地名、「神奈川県下」という語が記載されている。</p> <p>*詳細のデータは、資料（国語 - 9～国語 - 10）に記載。</p>		
構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁	<p>判型はB5判で、「誰にでも見やすく分かりやすい教科書になるようにユニバーサルデザインの視点を取り入れ、色使いやレイアウトなどに配慮して編集しました。」</p> <p>「環境に配慮した紙と植物油インキを使用しています。」と表記されている。</p> <p>巻末に言語に関する知識を系統的に学ぶ資料が、「言語の学習」として構成されている。</p> <p>*詳細のデータは、資料（国語 - 10～国語 - 11）に記載。</p>		
表記・表現	<p>「話すこと・聞くこと」「書くこと」「伝統的な言語文化」「学びの窓」の外枠がそれぞれに統一された色で示されている。</p> <p>「伝統的な言語文化」の学習のポイントがキャラクターの吹き出しで示されている。</p> <p>*詳細のデータは、資料（国語 - 11）に記載。</p>		

【資料】

教科種目名《 国語 》

発行者の略号	三省堂	書名	現代の国語
教育基本法、 学校教育法 及び 学習指導要領 との関連	<p>教育基本法に示されている「環境の保全」に関連して、地球環境について考える教材「人間は他の星に住むことができるのか」が取り上げられている。</p> <p>教育基本法に示されている「自ら進んで学習に取り組む意欲」に関連して、「読むこと」の学習を発展的に進めるために、「読み方を学ぼう」が「読むこと」の教材と巻末折り込みに示されている。</p> <p>学校教育法に示されている「主体的に学習に取り組む態度」に関連して、学習目標や学習の流れが「学びの道しるべ」で示され、「学びをひろげよう」で他教材や生活へつなげる工夫がされている。</p> <p>学習指導要領の国語科の目標である「思考力や想像力」に関連して、グラフとの関連を考えながら、事実と意見を読み分けて要旨を捉える教材「食感のオノマトペ」が取り上げられている。</p> <p>学習指導要領の教育内容の主な改善事項である「道徳教育」に関連して、社会の一員であることを自覚し、よりよい社会の実現を努めることに関する教材「意見文」が取り上げられている。</p> <p>*詳細は、資料（国語 - 6～国語 - 8）に記載。</p>		
かながわ教育 ビジョンとの 関連	<p>「思いやる力」の「生命の尊厳」に関連して、被爆建物から発見された伝言を扱った教材「壁に残された伝言」が取り上げられている。</p> <p>「たくましく生きる力」の「情報化」に関連して、メディアがもたらす利点と限界について考えさせる教材「情報社会を生きる メディア・リテラシー」が取り上げられている。</p> <p>「社会とかがわる力」の「人とのふれあい体験」に関連して、価値観の違いを超えて協力することの必要を説いた教材「『文殊の知恵』の時代」が取り上げられている。</p>		
内 容	<p>「話すこと・聞くこと」では、説得力を持たせ、話の構成や討論の展開を工夫して話す教材「論理で迫るか、感情に訴えるか 討論ゲーム」が取り上げられている。</p> <p>「書くこと」では、作品の魅力や特徴が効果的に伝わるように、描写や展開などを工夫して書く教材「読みたくなるしくみを工夫する」が取り上げられている。</p> <p>「読むこと」では、仕事や生き方について2つの文章を読み比べる教材「達人のことば 「宮大工 西岡常一」「彫刻家 外尾悦郎」」が取り上げられている。</p> <p>伝統的な言語文化と国語の特質に親しむことをねらいとした「月を思う心」では、月の異名や旧暦などの紹介とさまざまな種類の古典作品があることが取り上げられている。</p> <p>神奈川に関連することとして、「歌舞伎 外郎売」に「相州小田原」の地名が記載されている。</p> <p>*詳細のデータは、資料（国語 - 9～国語 - 10）に記載。</p>		
構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁	<p>判型はB5判で、「この教科書は、カラーユニバーサルデザインに配慮して編集しています。また、環境にやさしい用紙と植物油インキを使用しています。」と表記されている。</p> <p>巻末に本編の学習内容を補充・発展させる資料が、「読書の広場」「考える広場」「参考資料」として構成されている。</p> <p>*詳細のデータは、資料（国語 - 10～国語 - 11）に記載。</p>		
表記・表現	<p>「話すこと・聞くこと」「書くこと」がマークで示されている。</p> <p>1年は橙、2年は緑、3年は青を基調とした色刷りがなされている。</p> <p>*詳細のデータは、資料（国語 - 11）に記載。</p>		

【資料】

教科種目名《 国語 》

発行者の略号	教出	書名	伝え合う言葉 中学国語
教育基本法、 学校教育法 及び 学習指導要領 との関連	<p>教育基本法に示されている「正義と責任」に関連して、ユダヤ人の差別・迫害問題を扱った教材「ベンチ」が取り上げられている。</p> <p>教育基本法に示されている「自ら進んで学習に取り組む意欲」に関連して、各教材の「目標と振り返り」が、「話すこと・聞くこと」については各教材の冒頭に、「読むこと」については「みちしるべ」に示されている。</p> <p>学校教育法に示されている「主体的に学習に取り組む態度」に関連して、「学びの重点」で「書くこと」「話すこと・聞くこと」の学習内容が示され、「学びを生かそう」で学んだことが他教材や生活へつなげる工夫がされている。</p> <p>学習指導要領の国語科の目標である「思考力や想像力」に関連して、文字で書かれた詩や文章に与える写真の効果について考えさせる教材「写真と言葉が生み出す世界 メディアリテラシー入門」が取り上げられている。</p> <p>学習指導要領の教育内容の主な改善事項である「体験活動」に関連して、教材「体験したことを文章にする」の中で自分の体験を振り返りながらまとめる例が取り上げられている。</p> <p>*詳細は、資料（国語 - 6～国語 - 8）に記載。</p>		
かながわ教育 ビジョンとの 関連	<p>「思いやる力」の「生命の尊厳」に関連して、戦没画学生慰霊美術館を扱った教材「無言館の青春」が取り上げられている。</p> <p>「たくましく生きる力」の「情報化」に関連して、新聞記事やテレビニュースを比較する教材「情報を編集するしかけ メディアにひそむ意図」が取り上げられている。</p> <p>「社会とかかわる力」の「生きること」に関連して、花を贈る行為を通して自己の生命や存在について考えさせる教材「花を贈る」が取り上げられている。</p>		
内 容	<p>「話すこと・聞くこと」では、異なる立場の対立する意見を調整する方法や問題解決のプロセスを学ぶ教材「対話力とは何か」が取り上げられている。</p> <p>「書くこと」では、描写や比喩などの表現の仕方を工夫して、写真から物語を創作して書く教材「写真から物語を創作する」が取り上げられている。</p> <p>「読むこと」では、自然や知性に対する筆者の考え方について、自分の考えをまとめる教材「ガイアの知性」が取り上げられている。</p> <p>伝統的な言語文化と国語の特質に親しむことをねらいとした「四季のたより」では季節ごとの和歌や俳句、季節の言葉が取り上げられている。</p> <p>神奈川に関連することとして、巻末「言葉の自習室」で「新聞の作り方」の例に「横浜みなとみらい新聞」が記載されている。</p> <p>*詳細のデータは、資料（国語 - 9～国語 - 10）に記載。</p>		
構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁	<p>判型はB5判で、「この教科書は、色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮して作られています。」「この教科書は、環境にやさしい再生紙と植物油インキを使用しています。また、生徒が使用する教科書の印刷においては、バイオマスで発電されたグリーン電力を使用します。」と表記されている。</p> <p>巻末に本編の学習内容を補充・発展させる資料が、「言葉と文法 解説編」「漢字」「言葉の自習室」として構成されている。</p> <p>*詳細のデータは、資料（国語 - 10～国語 - 11）に記載。</p>		
表記・表現	<p>「話すこと・聞くこと」「書くこと」がマークとキャラクターで、「伝統的な言語文化」がキャラクターで示されている。</p> <p>1年は緑、2年は橙、3年は青を基調とした色刷りがなされている。</p> <p>*詳細のデータは、資料（国語 - 11）に記載。</p>		

【資料】

教科種目名《 国語 》

発行者の略号	光村	書名	国語
教育基本法、 学校教育法 及び 学習指導要領 との関連	<p>教育基本法に示されている「豊かな情操」に関連して、人間の結びつきを扱った教材「小さな町のラジオ発 - 臨時災害放送局「りんごラジオ」」が取り上げられている。</p> <p>教育基本法に示されている「自ら進んで学習に取り組む意欲」に関連して、各教材の学習目標が、教科書冒頭「学習の見通しをもとう」、教材タイトル下、教材末「学習」にそれぞれ示され、「学習を振り返る」が教材末「学習」に示されている。</p> <p>学校教育法に示されている「主体的に学習に取り組む態度」に関連して、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の各教材の終わりに「次へつなげよう」が示され、他教材や生活へつなげる工夫がされている。</p> <p>学習指導要領の国語科の目標である「国語を尊重する態度」に関連して、時とともに推移する言葉の性質を扱った教材「言葉を選ぼう」が取り上げられている。</p> <p>学習指導要領の教育内容の主な改善事項である「言語活動」に関連して、論説を比較し評価するための教材「新聞の社説を比較して読もう」が取り上げられている。</p> <p>* 詳細は、資料（国語 - 6 ~ 国語 - 8）に記載。</p>		
かながわ教育 ビジョンとの 関連	<p>「思いやる力」の「生命の尊厳」に関連して、避難民キャンプで生きる少女を扱った教材「エルサルバドルの少女 ヘスース」が取り上げられている。</p> <p>「たくましく生きる力」の「情報化」に関連して、メディアの特徴を知り、適切な情報を選んで活用する力を身につける教材「メディアと上手に付き合うために」が取り上げられている。</p> <p>「社会とかわる力」の「生きること」に関連して、連句を通して東日本大震災被災地の中学生と世界 49 の国や地域の人々との、言葉と心を通い合わせた教材「空を見上げて」が取り上げられている。</p>		
内 容	<p>「話すこと・聞くこと」では、交流を通して材料を整理し、相手の反応に注意しながら話す教材「一年間の学びを振り返ろう ポスターセッションをする」が取り上げられている。</p> <p>「書くこと」では、広告のコピーを例に、社会生活の中から関心のある事柄を決め、論理的で、説得力のある文章を書く教材「説得力のある文章を書こう」が取り上げられている。</p> <p>「読むこと」では、文と図の対応に注意しながら文章構成を読み取る教材「ちょっと立ち止まって」が取り上げられている。</p> <p>伝統的な言語文化と国語の特質に親しむことをねらいとした「音読を楽しもう」では、古文の響きや調子を楽しむことが取り上げられている。</p> <p>神奈川に関連することとして、「坊ちゃん」の作品中に「鎌倉」「箱根」の地名が記載されている。</p> <p>* 詳細のデータは、資料（国語 - 9 ~ 国語 - 国語 10）に記載。</p>		
構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁	<p>判型はB5判で、「教科書の作成にあたっては、カラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインに配慮しています。」「この教科書は環境に配慮した紙、植物油インキを使用しています。」と表記されている。</p> <p>巻末に本編の学習内容を補充・発展させる資料が、「文法」「漢字に親しもう」「学習を広げる」として構成されている。</p> <p>* 詳細のデータは、資料（国語 - 10 ~ 国語 - 11）に記載。</p>		
表記・表現	<p>「話すこと・聞くこと」「書くこと」がマークとキャラクターで示されている。</p> <p>1年は緑、2年は橙、3年は青を基調とした色刷りがなされている。</p> <p>* 詳細のデータは、資料（国語 - 11）に記載。</p>		

【資料】
教科種目名《国語（国語）》

1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連
教育基本法第2条及び第6条第2項の内容

第2条 一 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。

東書	家族や家庭を題材とした登場人物の心の交流を扱った教材「卒業ホームラン」が取り上げられている。
学図	仲間との絆を扱った教材「兄やん」が取り上げられている。
三省堂	友情と信頼をめぐる葛藤、克己など、心の揺れや動きが描かれた教材「走れメロス」が取り上げられている。
教出	家族を題材とした登場人物の心の交流を扱った教材「タオル」が取り上げられている。
光村	人間の結びつきを扱った教材「小さな町のラジオ発 - 臨時災害放送局「りんごラジオ」」が取り上げられている。

二 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。

東書	働くことについての考え方を示した教材「何のために「働く」のか」が取り上げられている。
学図	職場体験の報告会を題材に取り上げた教材「魅力を伝えよう」が取り上げられている。
三省堂	職場体験のお礼状を書く教材「わかりやすく、心をこめて書く」が取り上げられている。
教出	職場体験のお礼状を書く教材「お礼の手紙を書く」が取り上げられている。
光村	自分なりの職業ガイドを作る教材「多様な方法で情報を集めよう」が取り上げられている。

三 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。

東書	情報の意義とメディアの役割について考える教材「いつものように新聞が届いた メディアと東日本大震災」が取り上げられている。
学図	情報の捉え方や編集について扱った教材「情報を読む・世界を編集する」が取り上げられている。
三省堂	防災をテーマにした主張文を書く教材「推論と対話で考えを広げる」が取り上げられている。
教出	ユダヤ人の差別・迫害問題を扱った教材「ベンチ」が取り上げられている。
光村	情報発信の意義と責任について扱った教材「「想いのリレー」に加わろう」が取り上げられている。

四 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。

東書	人間社会と自然とのかかわりを扱った教材「絶滅の意味」が取り上げられている。
学図	人間社会と自然のかかわりを考える教材「生物が消えていく」が取り上げられている。
三省堂	地球環境について考える教材「人間は他の星に住むことができるのか」が取り上げられている。
教出	人間と動物の関わりを考える教材「ガイアの知性」が取り上げられている。
光村	地球環境を考える教材「流水と私たちの暮らし」が取り上げられている。

五 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

東書	日本の伝統的食文化である鰹節を扱った教材「鰹節 世界に誇る伝統食」を取り上げている。
学図	日本の伝統工芸を現代に伝える産業を扱った教材「ものづくりに生きる」が取り上げられている。
三省堂	日本の文化を西洋との対比で論じる教材「間の文化」が取り上げられている。
教出	天文学に日本の古典が生かされた例を扱った教材「「新しい博物学」の時代」が取り上げられている。
光村	伝統と文化を尊重して生きる態度を伝える教材「桜守三代」が取り上げられている。

第6条 2 前項の学校においては、教育の目標が達成されるよう、教育を受ける者の心身の発達に応じて、体系的な教育が組織的に行われなければならない。この場合において、教育を受ける者が、学校生活を営む上で必要な規律を重んずるとともに、自ら進んで学習に取り組む意欲を高めることを重視して行われなければならない。

東書	学習課題に進んで取り組むために、「読むこと」の学習手順「読み取る」「考えを深める」が「てびき」に示されている。
学図	「読むこと」の学習に主体的に取り組むために、単元のはじめの「読むこと」教材の本文の脚注らんには、読解のための課題が示されている。
三省堂	「読むこと」の学習を発展的に進めるために、「読み方を学ぼう」が「読むこと」の教材と巻末折り込みに示されている。
教出	各教材の「目標と振り返り」が、「話すこと・聞くこと」については各教材の冒頭に、「読むこと」については「みちしるべ」に示されている。
光村	各教材の学習目標が、教科書冒頭「学習の見通しをもとう」、教材タイトル下、教材末「学習」にそれぞれ示され、「学習を振り返る」が教材末「学習」に示されている。

学校教育法第46条の内容

第46条 前項の場合においては、生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくみ、主体的に学習に取り組む態度を養うことに、特に意を用いなければならない。

東書	「てびき」で学習目標と振り返りが示され、「言葉の力」で他教材につなげる工夫がされている。
学図	「学びの窓」で課題や振り返りが示され、「発見する読み」で他教材につなげる工夫がされている。
三省堂	学習目標や学習の流れが「学びの道しるべ」で示され、「学びをひろげよう」で他教材や生活へつなげる工夫がされている。
教出	「学びの重点」で「書くこと」「話すこと・聞くこと」の学習内容が示され、「学びを生かそう」で学んだことが他教材や生活へつなげる工夫がされている。
光村	「話すこと・聞くこと」「書くこと」の各教材の終わりに「次へつなげよう」が示され、他教材や生活へつなげる工夫がされている。

学習指導要領の教科の目標

国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。

東書	作品のもとになった古典作品と読み比べる教材「形」が取り上げられている。
学図	言葉を通して相互に理解を深めることを考えさせる教材「言葉の共有」が取り上げられている。
三省堂	グラフとの関連を考えながら、事実と意見を読み分けて要旨を捉える教材「食感のオノマトペ」が取り上げられている。
教出	文字で書かれた詩や文章に与える写真の効果について考えさせる教材「写真と言葉が生み出す世界 メディアリテラシー入門」が取り上げられている。
光村	時とともに推移する言葉の性質を扱った教材「言葉を選ぼう」が取り上げられている。

学習指導要領の教育内容の主な改善事項に関連する内容

言語活動の充実

東書	図表を用いて情報を効果的に伝えるための教材「学校新聞の記事を書こう」が示されている。
学図	印象的なキャッチコピーを考える教材「私のブックデザイン」が取り上げられている。
三省堂	図表などを用いた記録の文章を書くための教材「一年間の自分とクラスを振り返って グループ新聞」が示されている。
教出	経験を整理し、スピーチで自分のよさを伝えるための教材「スピーチで学びを振り返る」が示されている。
光村	論説を比較し評価するための教材「新聞の社説を比較して読もう」が取り上げられている。

伝統や文化に関する教育の充実

東書	伝統芸能について考える教材「落語の秘密」が取り上げられている。
学図	伝統文化について考える教材「若者が文化を創造する」が取り上げられている。
三省堂	資料編に伝統芸能について考える教材「落語の世界」が取り上げられている。
教出	日本の科学技術文化について考える教材「文化としての科学技術」が取り上げられている。
光村	資料編に伝統芸能について考える教材「古典芸能の世界」が取り上げられている。

道徳教育の充実

東書	目標に向かって勇気をもって充実した生き方を追求することを描いた教材「さんちき」が取り上げられている。
学図	異なる立場のものの見方や考え方を理解し、新聞記事にまとめる教材「隠れた世界を知る」が取り上げられている。
三省堂	社会の一員であることを自覚し、よりよい社会の実現を努めることに関する教材「意見文」が取り上げられている。
教出	国際的視野に立って世界の平和と人類の幸福について話し合う教材「課題を解決するために話し合う」が取り上げられている。
光村	家族の心の交流と家族の一員としての自覚を持って進んで役に立つことする姿を描いた教材「盆土産」が取り上げられている。

体験活動の充実

東書	「場面に応じて話そう」の中で自分の体験を振り返って意見を話し合う例が取り上げられている。
学図	「意見文を書こう」の中で自分の体験を踏まえた意見文の書き方の例が取り上げられている。
三省堂	「一年間の自分とクラスを振り返って」の中で体験したことをグループ新聞にまとめる例が取り上げられている。
教出	「体験したことを文章にする」の中で自分の体験を振り返りながらまとめる例が取り上げられている。
光村	「好きなもの」を紹介しようの中で具体的な体験から内容を定める例が取り上げられている。

2 かながわ教育ビジョンとの関連

【思いやる力】他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。

（共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、男女平等教育、道徳教育など）

東書	原爆の悲劇を題材にした教材「碑」が取り上げられている。
学図	震災の渦中にいた人々を扱った教材「黒い雨」が取り上げられている。
三省堂	被爆建物から発見された伝言を扱った教材「壁に残された伝言」が取り上げられている。
教出	戦没画学生慰霊美術館を扱った教材「無言館の青春」が取り上げられている。
光村	避難民キャンプで生きる少女を扱った教材「エルサルバドルの少女 ヘスース」が取り上げられている。

【たくましく生きる力】自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる。

（公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力など）

東書	情報発信、情報受信の注意点について考える教材「ニュースの見方を考えよう」が取り上げられている。
学図	情報を編集するしかけについて考える教材「情報を読む・世界を編集する」が取り上げられている。
三省堂	メディアがもたらす利点と限界について考えさせる教材「情報社会を生きる メディア・リテラシー」が取り上げられている。
教出	新聞記事やテレビニュースを比較する教材「情報を編集するしかけ メディアにひそむ意図」が取り上げられている。
光村	メディアの特徴を知り、適切な情報を選んで活用する力を身につける教材「メディアと上手に付き合うために」が取り上げられている。

【社会とかかわる力】社会とのかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献できる力を育てる。

（生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動など）

東書	社会生活の中で、丁寧な手紙を書く教材「依頼状やお礼状を書こう」が取り上げられている。
学図	発達段階に応じた子どもとのふれあいを描いた教材「空飛ぶ魔法のほうき」が取り上げられている。
三省堂	価値観の違いを超えて協力することの必要を説いた教材「文殊の知恵」の時代」が取り上げられている。
教出	花を贈る行為を通して自己の生命や存在について考えさせる教材「花を贈る」が取り上げられている。
光村	連句を通して東日本大震災被災地の中学生と世界49の国や地域の人々とが、言葉と心を通い合わせた教材「空を見上げて」が取り上げられている。

3 内容

		調査研究項目	東書	学図	三省堂	教出	光村
A 話す・聞く	1年	日常生活の中の話題について報告や紹介をしたり、それらを聞いて質問や助言をしたりすること。	1	2	2	3	2
		日常生活の中の話題について対話や討論などを行うこと。	2	2	2	2	1
	2年	調べて分かったことや考えたことなどに基づいて説明や発表をしたり、それらを聞いて意見を述べたりすること。	2	1	1	2	2
		社会生活の中の話題について、司会や提案者などを立てて討論を行うこと。	1	1	1	1	1
	3年	時間や場の条件に合わせてスピーチをしたり、それを聞いて自分の表現の参考にしたりすること。	2	1	1	2	1
		社会生活の中の話題について、相手を説得するために意見を述べ合うこと。	1	1	1	2	1
B 書く	1年	関心のある芸術作品などについて、鑑賞したことを文章に書くこと。	1	0	1	1	1
		図表などを用いた説明や記録の文章を書くこと。	1	2	2	2	2
		行事等の案内や報告の文章を書くこと。	1	1	1	1	1
	2年	表現の仕方を工夫して、詩歌をつくったり物語などを書いたりすること。	2	1	2	2	2
		多様な考えができる事柄について、立場を決めて意見を述べる文章を書くこと。	1	1	1	3	1
	3年	社会生活に必要な手紙を書くこと。	1	0	1	1	1
関心のある事柄について批評する文章を書くこと。		1	1	1	1	2	
C 読む	1年	目的に応じて様々な文章などを集め、工夫して編集すること。	1	0	2	1	4
		様々な種類の文章を音読したり朗読したりすること。	5	8	5	8	10
		文章と図表などとの関連を考えながら、説明や記録の文章を読むこと。	1	0	2	3	2
	2年	課題に沿って本を読み、必要に応じて引用して紹介すること。	2	2	1	2	1
		詩歌や物語などを読み、内容や表現の仕方について感想を交流すること。	6	17	6	6	11
		説明や評論などの文章を読み、内容や表現の仕方について自分の考えを述べること。	5	4	4	6	5
3年	新聞やインターネット、学校図書館等の施設などを活用して得た情報を比較すること。	1	1	1	2	1	
	物語や小説などを読んで批評すること。	2	1	1	0	1	
	論説や報道などに盛り込まれた情報を比較して読むこと。	1	1	2	3	1	
		自分の読書生活を振り返り、ほんの選び方や読み方について考えること。	3	1	1	0	1

		調査研究項目	東書	学図	三省堂	教出	光村	
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	言語的・文化的な	1年 古典の教材数 ()は資料編に掲載されている教材数	3(1)	5(0)	3(4)	3(5)	4(1)	
		2年 古典の教材数 ()は資料編に掲載されている教材数	3(3)	5(0)	3(5)	3(5)	5(2)	
		3年 古典の教材数 ()は資料編に掲載されている教材数	3(3)	7(0)	3(4)	3(6)	5(2)	
	言葉の特質やきまりに関する事項	1年	音声の働きや仕組みについて関心をもち、理解を深めること。	1	0	2	1	1
			語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意し、語感を磨くこと。	0	0	0	0	0
			事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めるとともに、話や文章の中の語彙について関心をもつこと。	1	0	1	0	0
			単語の類別について理解し、指示語や接続詞及びこれらと同じような働きをもつ語句などに注意すること。	6	6	4	3	4
			比喩や反復などの表現の技法について理解すること。	0	0	1	0	1
		2年	話し言葉と書き言葉の違い、共通語と方言の果たす役割、敬語の働きなどについて理解すること。	3	1	2	3	3
			抽象的な概念を表す語句、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、語感を磨き語彙を豊かにすること。	3	5	2	3	5
			文の中の文の成分の順序や照応、文の構成などについて考えること。	1	1	1	1	0
			単語の活用について理解し、助詞や助動詞などの働きに注意すること	3	4	3	3	4
	3年	相手や目的に応じて、話や文章の形態や展開の違いがあることを理解すること。	0	0	0	1	0	
		時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いを理解するとともに、敬語を社会生活の中で適切に使うこと。	2	0	2	2	1	
		慣用句・四字熟語などに関する知識を広げ、和語・漢語・外来語などの使い分けに注意し、語感を磨き語彙を豊かにすること。	7	7	2	6	5	
漢字に関する事項	1年 新出漢字の数	377	412	392	400	371		
	2年 新出漢字の数	375	442	390	437	401		
	3年 新出漢字の数	284	286	297	293	348		

調査研究項目		東書	学図	三省堂	教出	光村	
実生活との関わりをもつ教材	日常生活や社会生活に関連した教材(手紙、新聞等)数	1年	1(2)	2(0)	1(1)	0(2)	1(1)
		2年	2(1)	1(0)	2(1)	2(1)	1(2)
		3年	0(1)	0(0)	1(1)	1(2)	2(0)
他教科との関連を図った教材	グラフや図表をかく教材数	1年	1(0)	1(0)	2(1)	2(1)	2(1)
		2年	2(1)	1(0)	2(1)	1(1)	2(0)
		3年	1(0)	1(0)	0(1)	0(1)	1(0)
多様なジャンルを扱った教材	文学的文章の教材数	1年	11(3)	22(0)	10(3)	10(4)	13(2)
		2年	12(3)	21(0)	9(3)	10(5)	16(1)
		3年	12(3)	21(0)	12(5)	14(5)	14(3)
	説明的文章の教材数	1年	6(1)	4(0)	5(0)	6(1)	6(1)
		2年	6(1)	5(0)	5(1)	7(0)	5(1)
		3年	7(1)	5(0)	5(1)	6(3)	7(0)
発展的な学習内容の取り扱い	読書に関する教材数	1年	4(4)	4(0)	1(6)	2(5)	3(3)
		2年	6(5)	3(0)	1(7)	2(4)	3(3)
		3年	6(5)	3(0)	1(7)	2(6)	3(4)

()は資料編に掲載されている教材数

神奈川に関連する内容

1年	東書	「トロッコ」の作品中に「小田原」「岩村」が記載されている。
	学図	神奈川県出身の作家角田光代の「初めてのちいさな旅」が掲載されている。
	三省堂	「トロッコ」の作品中に「小田原」「岩村」が記載されている。
	教出	神奈川県出身のサイエンスリテラシー・プロデューサー古田ゆかりの「電子レンジの発想」が掲載されている。
	光村	「坊ちゃん」の作品中に「鎌倉」「箱根」が記載されている。
2年	東書	「坊ちゃん」の作品中に「鎌倉」「箱根」が記載されている。
	学図	「坊ちゃん」の作品中に「鎌倉」「箱根」が記載されている。神奈川県出身の画家岡本太郎の「宇宙が叫ぶ 梵鐘・歓喜」が掲載されている。
	三省堂	「歌舞伎 外郎売」の作品中に「相州小田原」が記載されている。
	教出	「坊ちゃん」の作品中に「鎌倉」「箱根」が記載されている。「新聞の作り方」の例として「横浜みなとみらい新聞」が示されている。
	光村	「気持ちをこめて書こう」でお礼状の例に「小田原市」が記載されている。「郷土ゆかりの作家・作品」で神奈川県が舞台となる作品として「山の音」が取り上げられている。
3年	東書	神奈川県出身の国文学者深沢了子の「「おくのほそ道」の旅」が掲載されている。
	学図	「握手」の作品中に「横浜」「丹沢」「足柄茶」が記載されている。「夕空晴れて」の作品中に「横浜」の地名、「神奈川県下」という語が記載されている。
	三省堂	「握手」の作品中に「横浜」「丹沢」「足柄茶」が記載されている。「坊ちゃん」の作品中に「鎌倉」「箱根」が記載されている。神奈川県出身の科学史家神里達博の「フロン規制の物語 杞憂 と 転ばぬ先の杖 のはざままで」が掲載されている。
	教出	「「ふるさと」を巡る 文学にゆかりのある風景」で、横浜市にある中島敦文学碑を紹介している。
	光村	「握手」の作品中に「横浜」「丹沢」「足柄茶」が記載されている。

4 構成・分量・装丁

ページ数	東書			学図			三省堂		
	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年
A 話すこと・聞くこと	17	17	18	9	13	10	20	15	15
B 書くこと	32	37	29	10	11	8	28	22	19
C 読むこと	126	137	137	236	226	245	117	140	131
総ページ数	1024			1043			970		
23年度版との比較	8%			-13%			-33%		
ページ数	教出			光村					
	1年	2年	3年	1年	2年	3年			
A 話すこと・聞くこと	11	11	13	13	17	17			
B 書くこと	15	16	11	34	20	14			
C 読むこと	142	158	145	137	154	140			
総ページ数	1080			968					
23年度版との比較	+15%			+3%					

資料編について

東書	巻末に「基礎編」「資料編」として編集されている。
学図	巻末に「言語の学習」として編集されている。
三省堂	巻末に「資料編」として編集されている。
教出	巻末に「言葉と文法 解説編」「漢字」「言葉の自習室」として編集されている。
光村	巻末に「文法」「漢字に親しもう」「学習を広げる」として編集されている。

ページ数

東書			学図			三省堂			教出			光村		
1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年
100	104	104	45	61	46	96	88	92	130	131	135	92	92	96
308			152			276			396			280		

項目数

東書			学図			三省堂			教出			光村		
1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年
5	5	5	8	8	10	7	7	8	3	3	3	5	5	5
15			26			22			9			15		

主な項目名

東書	1年	「学びを支える言葉の力」「文法解説」「読むこと」「古典」「話すこと・聞くこと/書くこと」「言葉の資料」
	2年	「学びを支える言葉の力」「文法解説」「読むこと」「古典」「話すこと・聞くこと/書くこと」「言葉の資料」
	3年	「学びを支える言葉の力」「文法解説」「読むこと」「古典」「話すこと・聞くこと/書くこと」「言葉の資料」
学図	1年	「一年生の文法の学習」「一年生の語句・語彙の学習」「古典に親しむために」「今に伝わる注意したい古語」「注意すべき筆順」「常用漢字表・常用漢字表の付表」「日本文学の流れ」「口語・文語活用対照表」
	2年	「二年生の文法の学習」「二年生の語句・語彙の学習」「古典に親しむために」「今に伝わる注意したい古語」「注意すべき筆順」「常用漢字表・常用漢字表の付表」「日本文学の流れ」「口語・文語活用対照表」
	3年	「三年生の文法の学習」「活用コラム 文法を考える」「一・二年生の文法のまとめ」「三年生の語句・語彙の学習」「古典に親しむために」「今に伝わる注意したい古語」「注意すべき筆順」「常用漢字表・常用漢字表の付表」「日本文学の流れ」「口語・文語活用対照表」
三省堂	1年	「読書ガイダンス」「見て楽しむ」「声に出して読む」「古典を楽しむ」「読む力を伸ばそう」「学ぶ力を高めよう」「参考資料」
	2年	「読書ガイダンス」「見て楽しむ」「声に出して読む」「古典を楽しむ」「読む力を伸ばそう」「学ぶ力を高めよう」「参考資料」
	3年	「読書ガイダンス」「見て楽しむ」「声に出して読む」「古典を楽しむ」「読書」「読む力を伸ばそう」「学ぶ力を高めよう」「参考資料」
教出	1年	「言葉と文法 解説編」「漢字」「言葉の自習室」
	2年	「言葉と文法 解説編」「漢字」「言葉の自習室」
	3年	「言葉と文法 解説編」「漢字」「言葉の自習室」
光村	1年	「文法」「漢字に親しもう」「資料」「付録」「学習のための用語一覧」
	2年	「文法」「漢字に親しもう」「資料」「付録」「学習のための用語一覧」
	3年	「文法」「漢字に親しもう」「資料」「付録」「学習のための用語一覧」

5 表記・表現

調査研究項目	東書	学図	三省堂	教出	光村
文章表現や漢字・かなづかい・用語・記号・計量単位・図版などの使用	適	適	適	適	適
文字の大きさ、字間、行間、書体など	適	適	適	適	適
文章、図版などの割付	適	適	適	適	適

使用されているマーク

東書	各領域がマークで示されている。
学図	各領域が文字で示されている。
三省堂	各領域がマークで示されている。
教出	各領域がマークで示されている。
光村	各領域がマークで示されている。